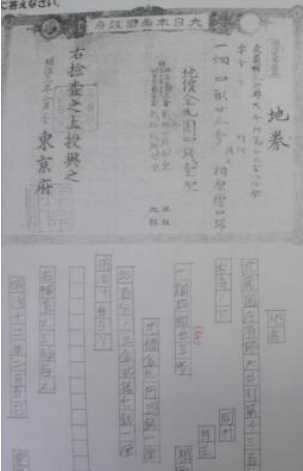


わかる授業を目指して

羽島高校では「わかる授業」を追求するため、教員の校内研修として教科ごとの研究授業を実施しています。今回（7/14）は地歴科の研究授業でした。研究のポイントは、プリント学習の工夫です。プリント内の設問の内容が明確で、生徒は計算機を使いながら、当時の地租について学習していました。

### 2 地租改正と富国強兵

次の史料は明治時代の「地券」である。この史料を現代の漢字に直して読んで答えなさい。



設問	解答
①この地の持ち主は誰か。	箱原格四郎
②この地の金融的価値はいくらか。 ※当時のお金の単位で、史料からの抜き出しでよい。	九千四百五十一圓
③地の金融的価値を漢字二文字で何と書っているか。	千圓
④「百分ノ三」とは、何パーセントか。	3%

以下計算用紙白

$$9000 + 40 + 1 = 9041$$
$$9041 \times 0.03 = 271.23$$
$$9041 \div 100 = 90.41$$

※1円=100銭 1銭=10厘

